

昭和東南海地震75年

(みえ地震対策の日) シンポジウム

「学校・地域・家庭」をつなぐ地震・津波対策

今年、昭和東南海地震から75年の節目にあたり、この災害の教訓を次世代に継承するとともに、県民の皆さんの防災・減災意識を高めるため、昭和東南海地震75年(みえ地震対策の日)シンポジウムを開催します。

今回のシンポジウムでは、昭和東南海地震の教訓をふまえ「学校・地域・家庭」をつなぐ地震・津波対策をテーマに地震・津波発生前後の防災・減災対策のあり方について考えます。

※三重県では、昭和東南海地震が発生した12月7日を「みえ地震対策の日」と定めています。

日時
会場

令和元年 **12月15日(日)** 12:00~16:30 (シンポジウム受付12:00~)
御浜町中央公民館アメニティーホール (御浜町阿田和4926-1)

東日本大震災による被害 (宮城県多賀城市八幡地区:東北大学災害科学国際研究所提供)

入場無料(定員400名) | 事前に参加申込みをお願いします【締切12/6(金)] | 手話通訳・要約筆記あり

◆シンポジウム(13:00~16:30)◆【事前申込み要】

次第

1 基調講演

愛する家族・地域を自然の脅威
である地震・津波から守るには?

いまむら ふみひと
講師 今村 文彦 氏
東北大学災害科学国際研究所 所長

2 みえの防災大賞表彰式

プレゼンター 三重県知事 鈴木 英敬

3 パネルディスカッション

昭和東南海地震の教訓をふまえた「学校・地域・
家庭が一体となった防災・減災のあり方」

パネリスト 植前 健 氏 (御浜町立阿田和小学校校長)
須崎 真 氏 (紀南病院組合立紀南病院院長)
柳生 和美 氏 (古和浦会(古和浦親子防災の会)共同代表)
大畑 覚 氏 (御浜町長)

コメンテーター 今村 文彦 氏 (前掲)
コーディネーター 鈴木 英敬 氏 (前掲)

総括

南海トラフ地震をふまえた
東紀州地域の現状と課題

川口 淳 (三重大学大学院工学研究科准教授)

◆防災・減災啓発展示等◆

(12:00~16:30)【事前申込み不要】

- 三重県立図書館による防災・減災関連本の貸出
※本を借りるには、三重県立図書館の利用カードが必要です。利用カードをお持ちでない方は、新規登録がその場でできます。(免許証、保険証など住所・本人確認のできる証明書をお持ちください。)
- 防災科学技術研究所による
陸海統合地震津波火山観測網「MOWLAS」の紹介
- 書籍の展示『現代三重の災害』
- 『三重県史』(通史編 近現代2)・別冊-
- 地震体験車による地震体験
- みえ防災・減災アーカイブ体験
会場内設置のパソコン、タブレットで、防災・減災に関する様々な情報を実際に閲覧できます。
- 防災・減災に係る各種パネル展示など
(津地方気象台、御浜町、三重県、みえ防災・減災センター)

※御浜町に「大雨」「洪水」または「暴風」警報が発表されている場合や、県内に震度5弱以上の地震が観測され、災害対策本部を設置している場合など、やむを得ずシンポジウムを中止する場合があります。ご了承ください。

お申し込みについて、詳しくは裏面をご覧ください。

主催 | みえ防災・減災センター、三重県、三重大学、津地方気象台

共催 | 御浜町 後援 | 熊野市、紀宝町、久居ライオンズクラブ

お問い合わせ
お申し込み先

みえ防災・減災センター

☎ : 059-231-5694 FAX : 059-231-9954

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学 地域イノベーション
研究開発拠点A棟3階

E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp

midimic
mie disaster mitigation center

講師紹介

今村 文彦 氏 東北大学災害科学国際研究所所長・津波工学研究分野教授

東北大学大学院（博士課程）修了 工学博士

東北大学工学部土木工学科助手、同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、教授を経て、現在同大学災害科学国際研究所長（教授）

主な専門分野は津波工学、津波防災・減災技術開発、津波数値解析を始めとした流体波動解析、災害被害調査など。

東日本大震災復興構想会議検討部会、中央防災会議東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会、宮城県震災復興会議、気仙沼市中島海岸・津谷川災害復旧事業に関する検討会委員長などの津波専門家として復興や今後の防災を議論する主要なメンバー。

平成25年内閣府防災功労者防災担当大臣表彰、平成27年文部科学大臣表彰（科学技術振興部門）、平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰などを受賞。



会場案内



★公共交通機関でお越しの方

J R 紀勢本線阿田和駅より徒歩4分

三重交通バス紀南病院前より徒歩2分

☆お車で越しの方

・名古屋方面の方

熊野大泊 IC から約 20 分、道の駅「パーク七里御浜」(ピネ)の次の信号「紀南病院」を右折後すぐ

・和歌山方面の方

新宮駅（和歌山県）から約 25 分、道の駅「パーク七里御浜」(ピネ)の手前の信号「紀南病院」を左折後すぐ

※御浜町中央公民館前駐車場及びヤシの木公園横の駐車場に必ず駐車してください。近隣店舗駐車場には駐車しないでください。

申込方法

●郵送・E-mail

「12/15 シンポジウム 参加申込」と記載のうえ、①お名前・ふりがな、②連絡先（電話番号・メールアドレスなど）を明記し、下記住所または E-mail アドレスまでお送り下さい。

●FAX

以下の「参加申込書」に必要事項を記入し、下記 FAX 番号までお送りください。

※お申し込み受理の連絡等はいりません。当日会場にお越し下さい。

昭和東南海地震 75 年シンポジウム 参加申込書

ふりがな（ ）	申込者以外の参加人数 名
●お名前	
●電話番号	
●E-mail	同行者がいる場合にご記入下さい。
E-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp FAX : 059-231-9954 〒514-8507 津市栗真町屋町 1577 三重大学 地域イノベーション研究開発拠点 A 棟 3 階 みえ防災・減災センター	

△ ご記入いただいた個人情報につきましては、当研修会でのみ使用し、その他の目的で利用することはありません。

お車で越しの方は必ず指定駐車場（中央公民館前、ヤシの木公園横駐車場）に駐車してください。